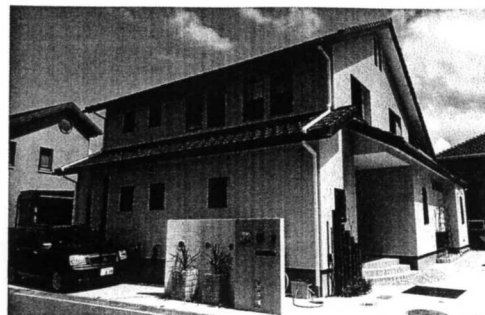
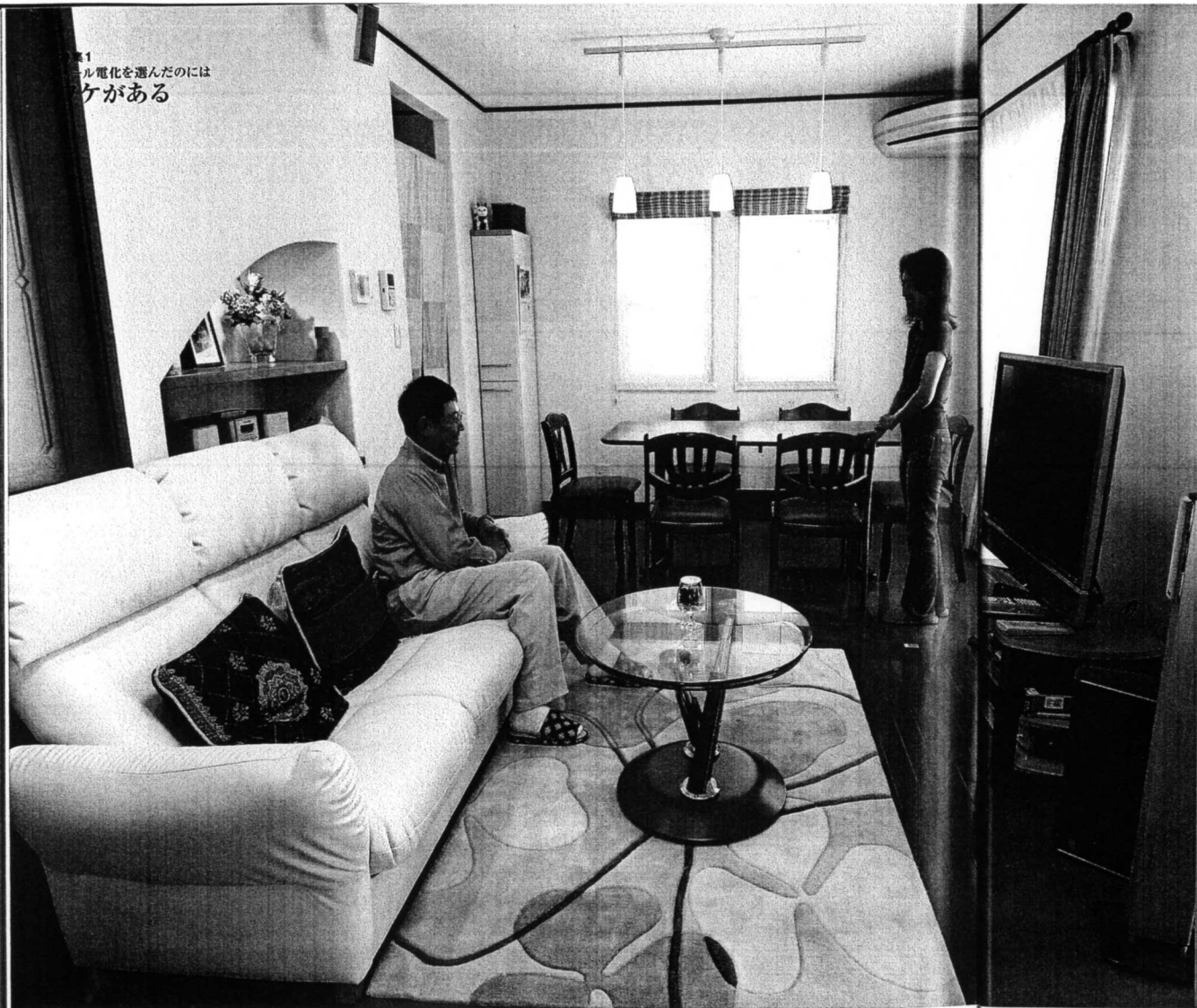


1
 シンプルな外観のなか
 に、さまざまなアイデア
 を取り入れている。高台
 に位置しているため、風
 通しや日照も抜群。2 門
 程の脇には、奥さまがベ
 インディングしたお皿が
 はめこまれている。植え
 込みの色に合わせてさり
 げなくコーディネート。3
 雨水を集めて再利用する
 ためのタンク。庭の芝生
 の水まきなどに使う。こ
 んなところにも環境への
 意識の高さがうかがえる
 4 愛犬の座くん(2歳)も
 新しい住まいでのびのび、
 楽しそう。Mさん一家の
 大切な7番目の家族だ



1 シンプルな外観のなか
 に、さまざまなアイデア
 を取り入れている。高台
 に位置しているため、風
 通しや日照も抜群。2 門
 程の脇には、奥さまがベ
 インディングしたお皿が
 はめこまれている。植え
 込みの色に合わせてさり
 げなくコーディネート。3
 雨水を集めて再利用する
 ためのタンク。庭の芝生
 の水まきなどに使う。こ
 んなところにも環境への
 意識の高さがうかがえる
 4 愛犬の座くん(2歳)も
 新しい住まいでのびのび、
 楽しそう。Mさん一家の
 大切な7番目の家族だ

1

e_h

electric housing #03 茨城 Mさん邸

一つひとつ
 話し合いながらつくり上げた
 私たちだけのオリジナルの家に
 家族みんな、とても満足しています。

—Mさん(奥さま)—

目を引く外観だったけれど、斬新なデザインが施されているわけではない。それだけで、Mさん邸にはさまざまな心づかりが行き届いている。家族のふれ合いを第一に考えられた家という印象を受ける。部屋のあるところから、仲のよいファミリーの風景が浮かんできた。

ワイドな開口部からの日差しが心地よいリビング・ダイニング。大家族の憩いの場にふさわしく、広々として開放感にあふれている

通しもよく、大きな窓からは
 明るい陽光が降り注ぐ。
 「ここから眺める景色がとくに
 好きなんです」と、奥さまは
 笑顔を見せる。ご主人はもち
 ろん、小学生、中学生、高校
 生の3人のお子さんも新しい
 家の住み心地にすっかり満足
 されている様子。さらに近々、
 お母さまも同居予定という6
 人の大家族だ。

家族が多いからこそ心配
 りが、Mさん邸には行き届い
 ている。リビングに隣接した
 パソコンルームもそうした工
 夫のひとつ。親の目の届く範
 囲で、お子さんがパソコンを
 使うようにという配慮から。
 その隣には趣味のスペースを
 設け、奥さまがトルペルベイン
 ティングを染みながら様子を
 つかがえる。

2階はプライベートの空間
 になっているが、階段を上つ
 た先はフレイミングルーム。自
 分の部屋に閉じこもらず、兄
 妹や友達と一緒に遊べるスペ
 ースをつくりたかったとのこと。
 実際にお子さんたちも遊
 ぶばかりでなく、宿題までこ
 こで済ませているようだとか。

「ちょっとした工夫ですが、話
 し合いながらつくりあげたの
 がよかったですね。私たちが
 けのオリジナルの家なんだな
 と感じています」

大家族ならではの工夫が
 随所に施された住まい
 Mさん邸は目の前に公園が開
 け、緑に囲まれている。リビ
 ングはこの景観を大切に、斜
 めに切り込むようにデザイ
 ン。高台に位置するため、風



4

3

2

特集1
オール電化を通んだには
ワケがある

設計者のコメント



Beハウス
所属
三級建築士
三級管理施工技術者
猿田博一さん

オール電化にするって電気費がかなり安くなり住み手、特に大家族ではその差は歴然。クリーンで安全な使い道も、すぐに実感していただけたはずです。今更なものはほとんどないと思います。おまかせに合った住宅を提供したいと考えています。

近年、住宅の共有スペースは
再び見直されてきています。
家族そろって同じ空間で楽しむのが
これからのスタイルです。

—Beハウス 猿田博一さん



Data

所在地	茨城県土浦市
家族構成	夫婦十子共3人十歳1区
構造	2×6工法 (2階建)
敷地面積	282.24㎡
延床面積	163.12㎡
建ぺい率	50%
容積率	100%
設計・工事期間	2005年8月～2006年2月
導入電化機器	エコキュート、電気式蓄熱床暖房、太陽光発電、IHクッキングヒーター
設計	Beハウス



8

「近年の住宅では、共有スペースが見直されてきています。各々のプライベートルームは変わるための場所、ふだんは同じスペースで楽しむというのが、これからのスタイルになるでしょう」

最新の技術に支えられたMさん邸は省エネや安全性のみならず、新しいライフスタイルをも提示してくれている。



electric housing #03
茨城 Mさん邸



9

8 清潔感あふれる明るい浴室。エコキュートに加え、お湯がなかなか冷めない浴槽を採用しているため、いつでも快適にお風呂を使える 9 洗面台は手描きの輸入ものを使用。心に響くものをたらす、ちょっとした心配りが行き届いている 10 リビングの隅にパソコンルーム。その先には趣味のスペースとオープンな間取りで、どこにいても家族の気配を感じることができる



10

5 造り付けの食器棚には扉を付けて、見せない収納に。キッチン奥には、さらにパントリーも設置している 6 IHのお手入れの簡単さが一番の魅力。「育ち盛りの子供がいるので、揚げもの抵抗なくできるのがうれしいですね」と奥さまも大満足 7 2階のプレイルーム。「それぞれの部屋を狭くしてでも、このスペースは欲しかった」というこだわりの空間は、家族全員のお気に入りの場所



6

5

全館床暖房で温度を均一化オープンな間取りが可能に「一生に一度建てた家だから、後で後悔しないように、本やネットで調べた」というMさん夫婦が最終的に選択したのは地元のBeハウス。設計者でもある所長の猿田博一さん自らが、家族構成やそれぞれの趣味を聞くことから始まり、家づくりを進めていった。「打ち合わせを何度も重ねて、疑問や要望にもすぐにその場で対処していただきました」と、奥さまは振り返る。

こうしたきめ細かな対応力が、地域に根ざしたビルダーの何よりの強みといえるだろう。加えて、「フットワークよく新しい技術を取り入れてお客さまに提供する」というのが、Beハウスの設計コンセプトでもある。

「高気密・高断熱の2×6で、暖房をはじめキッチンも給湯もすべて電気ですまかっています。思ったとおりの、環境にやさしいエコ住宅が完成しました」と、猿田さんは自信をもって語る。

二酸化炭素を排出せず、空気がきれいなオール電化はご夫婦の当初からの希望。全館床暖房の採用で室温を均一にし、共有スペースを重視した、よりオープンな間取りも可能



7